

ブースNo
45

會澤高圧コンクリート 株式会社「福島RDMセンター」



〒 053-0021

北海道苫小牧市若草町3丁目1番4号 独楽ビル



011-723-6600

採用担当者：人事労務統括 佐藤一彦



SDGsの取組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

女性社員によるインドでの「コンクリート3Dプリンター」を活用した“自己完結型水のいらないトイレ”の普及PJなど。

会社のココを見て



業務内容

自己治癒コンクリートやGHGをコンクリートに封じ込める技術を用いたコンクリート二次製品の製造、コンクリート3Dプリンター・水素再生可能エネルギー・デジタルクローン建築・エンジンドローンによる防災支援・スマート農業/陸上養殖等の分野で”脱炭素第一” “NETゼロ2035”実現のための研究開発実証実験を2023年4月操業開始の「福島RDMセンター」（福島県浪江町）で行います。

採用担当者からのメッセージ

再生可能エネルギー・ロボット産業の最先端の地である福島県浪江町。ゼロからの街づくりを進めていく中、「福島国際研究教育機構(F-REI)」の建設が決定し、国内外から多くの技術者や若者が集まっています。そのポテンシャルの高さはきっとAIZAWAの描く”The future can be developed !!”を実現に導きます。さあ、一緒に未来を作りましょう。



先輩社員からのメッセージ



- 入社4年目
- 開発営業本部
- エンジニア
- 北海道札幌市出身

入社の決め手

漠然と脱炭素に貢献できる仕事をしたいと思っていたとしても、何をやればよいかわからませんでした。AIZAWAでは自分の造ったコンクリート製品が脱炭素社会の実現に向けて、公共事業や再生可能エネルギー分野、スマート農業分野などで利用され、持続可能な社会の実現に貢献できることを知りました。コンクリートが自分の力で傷を治したり（自己治癒コンクリート）、CO₂を直接コンクリートに閉じ込めることができるなんて驚きです！（カーボンキュア）。もうやるしかないと決めました。

就活生へのエール

建築とテクノロジー、デジタルクローンを掛け合わせた研究開発を新工場で実現できるなんてめちゃめちゃ面白いと思います。自分はエンジニアとしてドローンの開発などにも携わっていますが、ここ浪江町では面白いことが出来そうだなと感じています。浪江に暮らすことで見えてくるものを大切にしながら、浪江町に立地する企業として町と一緒に自分も成長していきたいと思っています。是非あなたの力も貸してください。一緒に頑張りましょう。

企業データ

設立

1963年10月1日

資本金

6,390万円

売上高

2,030,000万円

従業員数

646人

男性：495人 女性：151人

年間休日

124日

平均有給消化日数

8日

過去3年間の新卒等採用者数
20人過去3年間の新卒等離職者数
2人

福利厚生

健康保険・厚生年金保険・雇用保険・
労働災害保険・団体医療保険